

令和3年度 県立試験研究機関の研究テーマ外部評価

●研究テーマ外部評価結果一覧

試験研究機関名	開催日	評価の種類	研究テーマ名	研究期間	評価	予算への反映状況
環境保健研究センター	令和3年9月2日 令和3年10月8日	事後	食品等に残留するネオニコチノイド系農薬等の実態調査	平成30～令和2年度	A	
産業技術センター	令和3年9月27日	中間	かがわAI+活用支援事業	平成30～令和4年度	A	1
	令和3年10月11日	事後	高分子繊維を用いた係留ロープ表面への海洋生物付着防止技術に関する研究	平成30～令和2年度	A	
		事後	県産大麦を用いた機能性表示食品開発支援	平成29～令和2年度	A	
農業試験場	書面開催 令和3年10月21日	中間	ICT等を活用した土壌診断法と高品質・多収阻害要因低減対策の確立	令和元～令和5年度	A	1
畜産試験場	令和3年9月24日	事前	香川県における飼料作物輪作体系（2年5作）確立に向けて	令和4～7年度	A	1
	令和3年10月28日	事後	乳用牛におけるポピドンヨード子宮内投与による分娩後早期定時受精卵移植の検討	平成30～令和2年度	A	
		事後	遺伝子マーカーを利用した讃岐コーチンの改良	令和2年度	A	
水産試験場・赤潮研究所	令和3年8月31日	中間	オリーブ葉による養殖魚の肉質改善技術の開発	平成29～令和6年度	A	1
	令和3年9月1日	中間	タイラギの増殖技術開発	平成30～令和5年度	A	1

【評価基準】

事前評価 A：計画のとおり研究を実施するのが適当 B：計画の内容を条件のとおり変更して実施するのが適当 C：実施する必要はない

中間評価 A：計画のとおり継続するのが適当 B：計画の内容を条件のとおり変更して継続するのが適当 C：研究を中止する

事後評価 A：期待どおりの成果が得られている B：一定の成果が得られている C：成果が得られていない

追跡評価 A：研究成果が期待どおり活用されている B：研究成果は一定の活用がされている C：研究成果が活用されていない

●研究テーマに関する問合せ先

研究機関名	氏名	役職	電話番号
環境保健研究センター	三好	次長	087-825-0400
産業技術センター	佐々原	次長	087-881-3175
農業試験場	田中	副場長	087-814-7312
畜産試験場	田淵	次長	087-898-1511
水産試験場・赤潮研究所	牧野	副場長	087-843-6511